

第32号

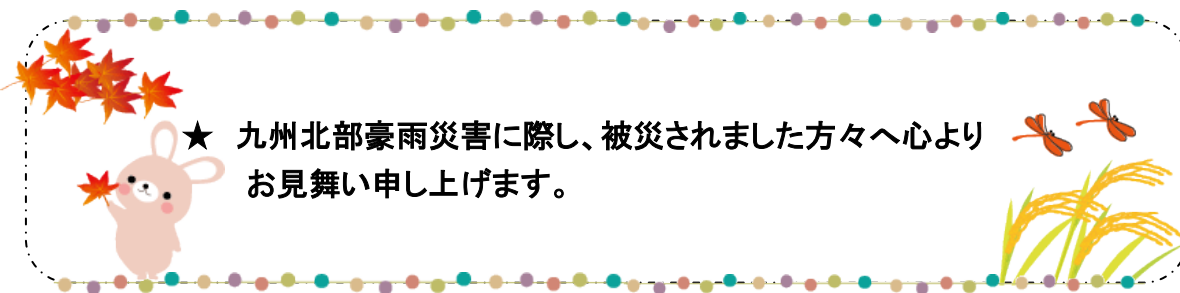
あか牛 オーナー通信



(公財)阿蘇グリーンストック 2012年9月発行



肥後銀行員様のオーナー牛「天草号」



★ 九州北部豪雨災害に際し、被災されました方々へ心より
お見舞い申し上げます。

現在のオーナー牛

【個人契約】

1 オーナー数及びオーナー牛頭数

41名の登録で42頭となっています。2012年度は6名の7頭のオーナー希望があり、現在4頭の受入れ先が決定し、残り3頭は受入れ先を探しているところです。

2 受け入れ農家数及び頭数

木落 1戸×6頭 狩尾 7戸×12頭 小堀 1戸×1頭
北坂梨 5戸×9頭 波野 7戸×13頭

※H19年度契約のオーナー・農家さんが契約満了となりました。満了の方で継続希望は2名となっています。

【団体契約】

1 オーナー数及びオーナー牛頭数 (団体加入の仕組みについては29号参照)

196名の登録で、42頭となっています。全て2011年度の契約です。

2 受入れ農家数及び頭数

小堀 2戸×4頭 狩尾 3戸×10頭 北坂梨 2戸×2頭
波野 2戸×2頭 町古閑 1戸×2頭 赤水 1戸×4頭
南阿蘇の牧野 18戸×18頭

**** オーナーの受入れを希望される農家の方は事務局まで連絡をお願い致します。**

オーナー交流会中止について

参加の申し込みを頂いた方には先日連絡させて頂きましたが、前回の号でお知らせ致しました9月1日のあか牛オーナー名前書き・交流会については中止と相成りました。楽しみにされていた皆様、大変申し訳ございませんでした。

阿蘇での7月12日よりの豪雨の被害状況は連日のように報道されたため、災害の規模の大きさ、被害の深刻さは周知の通りかと存じます。受入れ農家の皆様におかれましては家屋・畜舎・田畑などに関しましてかなりの被害状況にありますが、幸いなことには人的な被害はありませんでした。オーナーの皆様よりたくさんの御見舞の電話・メールを頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。

今回の交流会については、来年度の4月末～5月初めに開催予定です。

今号では、オーナー制度を受入れてくださっている牧野の被害状況についてわかった範囲ですがお知らせいたします。

木落牧場

木落牧場の被害はほとんどなかったようですが、受入れ家庭の方は土砂の流入が激しかった地区にお住まいだったため、オーナー牛は無事だったようですが、牛舎と牛に被害が出ているそうです。

狩尾の牧野

狩尾牧場、狩尾原野などの牧野側では被害はほとんどなかったようです。ただし、受入れ農家さんのご自宅や畜舎、牛等が流されたり水に浸かったりなど、大きな被害を受けた地区があります。長期間水に浸かると牛も弱ってしまい、時間をかけて獣医さんなどに見てもらいながら体調を戻さなくてはいけないそうです。オーナー牛に関する被害は出ていないようです。



佐野様のオーナー牛「LINEN」の子「美波里」(右)

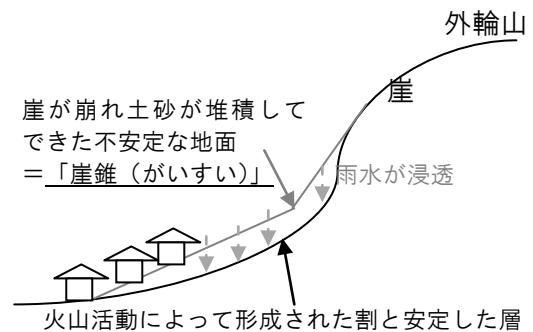
狩尾牧場ではオーナー牛の子どもが元気に育っているそうです。写真は豪雨前のものですが、佐野様のオーナー牛「LINEN」の子「美波里」（写真右側）と、近い時期に生まれた他の牛の子「類」（写真左側）です。両方とも男の子ということで、この2頭の名前の由来がわかる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

… コラム①： 土砂崩れについて …

今回の阿蘇での被害のうち、崖面の土砂崩れについて専門家の方からのお話を伺う機会がありましたので、コラムにてご紹介します。

- ・外輪山沿いの崖崩れの状況
→不安定な崖錐(がいすい)が崩壊し、
斜面を流れ落ち、被害を与えたのでは？

外輪山の急な崖が長年かけて崩れ崖錐ができ、今はその上に人が生活している。崖錐は空隙が多く水が浸透しやすい。集中豪雨で降った大量の雨が崖錐を浸透し、辿り着いた安定した層上を平野に向かって流れ下ったことで上の面(崖錐など)が浮いて水と共に崩れ落ちたのでは。



あくまで想定であって正確な要因ではないかもしれませんが、崖錐は注意が必要な地形のようなので何かの参考になればと紹介させていただきました。

小堀牧野



崩落した草原（仙酔峡の手前付近）

小堀では牧野の崩落が激しく、放牧地となっていた草原も被害が大きかったためしばらくの間は放牧を停止し牛は各農家さんの家へ移動していましたが、青少年交流の家付近では放牧が再開していました。オーナー牛への被害は出ていないようです。

北坂梨(一区)の牧野

一区牧野では放牧地の水飲み場が破壊されたそうです。また、受入れ農家の方のうち半数に土砂による家屋や納屋・畜舎への被害がありました。人的被害はなかったものの、多くの場所で土砂崩れが起こり、落石や大水で家財が大被害を受けました。家畜が水に浸かった方や土砂にのまれた方もいらっしゃるようです。



北坂梨の道沿いに溜まった流木・岩石



崩壊した道路

波野の牧野

波野は大きく報道がなかったものの、道路や田畑の被害は甚大で、様々な場所で田畑へ向かう道路が寸断されていたため、様子を見に行くことや復旧作業を行うことが困難な状況になっていました。幸いにも人的被害や受入れ農家での牛への被害はなかったようです。

.....

・・・ コラム②： 阿蘇の馬頭観音

以前馬頭観音のコラムを書いてから御無沙汰していました。この間にたくさんの馬頭観音に出会いましたので、その中よりいくつか紹介させていただきます。



坂梨郵便局横



黒川の農免沿い



西小倉公民館向かい

馬頭観音は草原や田畑で働いていた牛馬の、仕事場(草原・田畑)から畜舎への通り道にあることが多いようです。現在は牛馬を草原や田畑へ引いて連れて行くこともほとんどなくなり、馬頭観音だけが道沿いにポツンと残っています。

上記の3つの馬頭観音は集落の近くにあるものばかりで、おそらく畜舎から田畑への移動ルートに沿って建てられたのではないのでしょうか。畜舎から草原へ牛馬を引いて登った道は「草の道」と呼ばれており、次回はそちらの馬頭観音様を紹介できたらと思っています。

今回の豪雨で、地元の方が地道に復興作業を行っていた草の道で開通間近で土砂に埋められてしまった場所もあり、とても残念に思います。

町古閑牧野



崩落した草原（箱石峠の手前）

受入れ農家の方のご自宅も土砂崩れによる家屋やオーナー牛を含めた家畜への大きな被害が出ています。また、牧野も激しく崩落している場所があります。外輪山の上側から勢いを持って崩れ落ちてきた土砂は何十メートルもの距離を流れていました。

赤水牧野

赤水牧野の受入れ農家の方は家屋の被害、牛などの家畜への被害は出ていないそうです。ただ、畑が豪雨によって被害を受けているようです。

南阿蘇の牧野



久木野から見た阿蘇五岳

南阿蘇村の受入れ農家さんの中には白川の増水によって圃場に土砂が流入した方、草原の崩落に牛が巻き込まれ流された方がいらっしゃいます。また、草原の崩落も多くの場所で起こっており、牧野への水道が壊れ、修理が必要だった場所などもあったそうです。幸いにもオーナー牛への被害は出ておらず、オーナー様を受入れて頂いている牧野のうち現在放牧を中止している牧野はないようです。



高森から見た高岳

＊ ＊ 編集後記 ＊ ＊

前号の通信を発行し交流会に向けて準備を進めていた矢先、7月12日の九州北部豪雨によって阿蘇の草原と畜産は大きなダメージを受けました。春に続いて、秋の交流会も中止となってしまったこと、大変申し訳なく思っております。楽しみにされていた皆様にお詫び申し上げますとともに、被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。

素晴らしい草原と水資源を有する阿蘇では長期の放牧が可能のため、畜産業を営むかたわらで大規模な畑作や米の生産に力を入れることが出来ます。草原の崩落や水場の崩壊によって草原での放牧が出来なくなれば、畜産にかかる手間や飼料代などの費用が増えることとなります。そのため、畑作や米の生産へ体力が向けられなくなるか、飼育頭数を減らす、畜産業を辞めるなど、農業へのマイナスの影響が出ることになりかねません。一端崩落した草原は以前の放牧可能な状態に再生するまでに50年近くかかるとも言われます。今回の災害によって、草原がもたらしてきた恩恵を身をもって知ることになりました。

－ 前号の訂正とお詫び －

前号31号にて、3ページ目の狩尾牧場の項において、名前間違いがありました。佐野様のオーナー牛「LINEN」の子は「美波里」という名前です。間違っ**て**「類」と記述しておりました。大変申し訳ありませんでした。ご指摘くださった方、本当にありがとうございます。

なお、訂正後の通信31号は以下のHP上に掲載しておりますので、よろしければご覧ください。

以上、大変恐縮ですが紙面にてお詫び申し上げます。

インターネット上でオーナー制度に関する情報を公開しています！！

阿蘇グリーンストックのHP上にあか牛オーナー制度のページが完成しました。

- ・あか牛オーナー制度について
- ・オーナー牛の写真
- ・あか牛オーナー通信26号～現在まで

以上の情報が掲載されています！

オーナー牛の写真については、新しい写真を撮りしだい掲載していきます。

そのため、オーナー牛の写真を撮られた際に事務局までメール(下記のアドレス)で写真を送って頂けると助かります。携帯のカメラで撮った写真でもかまいません！

メールに写真を添付して頂き、メール本文には「送り主(受入れ家庭の方)の名前」、「オーナーさんの名前」、「牛の名号」、「撮影日」をわかる範囲で記して頂ければ助かります。

メールアドレス⇒ green-ma@aso.ne.jp

《会費入金のお願い》

会則で決められている通信費等の今年度分の年会費 2000 円(農家の方は 1000 円)の入金をお願いします。

一部未納の方がいらっしゃいますので、まだお済でない方は入金をお願いいたします。

あか牛オーナー制度に関してご意見・ご要望がありましたら電話、FAX、郵便でも結構ですので財団までお知らせ下さい。検討の上、可能な範囲で対応させていただきます。本制度をよりよくしていくためにもよろしくお願い致します。

担当：阿蘇グリーンストック 赤崎恵

2012 年 9 月

謝辞

オーナーの皆様、受入れ農家の皆様、オーナー通信に関わってくださった皆様に末筆ながらお礼申し上げます。

+++++

編集・発行

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2237 熊本県阿蘇市石 1537-1

TEL: 0967-35-1110 (代)

FAX: 0967-35-1151

E-mail: green-ma@aso.ne.jp

HP : <http://www.asogreenstock.com/>